

はリンク

はWAMNETの事業者情報にリンク

事業所名 アイリーフ 当新田

日付 平成 21年 3月 31日
特定非営利活動法人

評価機関名 ライフサポート

評価調査員 在宅介護経験10年

評価調査員 介護支援専門員経験3年

自主評価結果を見る

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)

このグループホーム・アイリーフ当新田は、平成14年に有限会社「アイリーフ」を設立した翌年に誕生した。その後、岡山・広島にいくつかのグループホームや有料老人ホーム等福祉施設をオープンし、これらのグループホーム施設が手を取り合ってより良いケアを目指し、良く頑張っている。その頑張りの一つが、平成17年から続いている「介護改善コンクール」だろう。今日の外部評価の訪問で、このコンクールの成果が続けて優秀な成績を収めている喜びに終わることなく、日々の暮らしにしっかりと根付いてきている事に、私は心底嬉しく感じられた。利用者も巻き込みながら目標をしっかりと打ち立て、一年の半分位この目標に向かってスタッフが心を一つにして進めていく過程は、コンクールの結果の良し悪しにかかわらず、大変有意義な事であろう。しかも、掲げられたテーマが継続され、このホームの空気、いわゆる「ブランド」になりつつある状況は、頼もしく期待感もさらに高まってくる。

一昨年の外部評価より改善された跡が数々見受けられたが、最も顕著な事は「地域住民との交流」の広がりではないかと思う。今日も午後3時過ぎになると「さあ、そろそろパトロールの時間ですよ」の職員の声に利用者は防寒着を着て「こどもあんぜんパトロール中」の腕章を付けて「行ってきます」となる。月・水・金の午後、学童の下校に合わせてお年寄りも散歩し、安全パトロールも兼ねるとの事だ。お年寄りは「社会の役に立つ事をしている」という遣り甲斐と、子供達とすっかり馴染んでしまってお喋りしたり、握手する等の交流の喜びも感じている。この他にもお祭りや餅つき大会の行事を通しての交流や幼稚園児たちとの行き来もあり、近所を散歩中にお手玉や木になっているイチジクをもらったりしている。お返しに餅つきのお餅をご近所に配ると、次の日にはその事で話しが弾むといった案配だ。当初は表通りに面してひっそりと立っていた掲示板も、今日は「ここで介護相談をします」の案内に私の目は釘付けになった。地域の人の「介護について聞きたい事があるけど、何処に聞いたら良いのか?」と願うホームは数多く見受けられるが、このホーム程積極的に動いている所はまだ数少ないと思う。このフットワークの軽さと「利用者の笑顔をどうしたら少しでも増やせるか」という探究心を私は大きく評価したい。

特に改善の余地があると思われる点

地域交流の輪をもっと大きくしたいという願いはかなり進展している。家族との交流にも力を入れてはいるが、その関係性のあり方も含めて、今後の課題かもしれない。家族への情報提供も個々の利用者に対しては丁寧に行われているが、グループホーム全体としての問題提起もしたり、共に運営を考えるチャンスも加味しながら再考していただきたい。

2. 評価結果（詳細）

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…以前より、花一杯運動に力を入れる等、地域に根差したホームを念頭に地道な努力をよく続けてきた。その結果、町内会長から「必要な連絡等、町内回覧を活用して下さい」と言ってもらえるまでになった。ホーム発行の「かわら版」を入れてもらうという改善は、地域交流の輪を更に一歩前進させるだろう。町内の人に読んでもらえたら、また話しも広がるだろう。</p> <p>2、全体的に見て…事務長の母親の介護が必要になった時、「鍋を囲んで、美味しいものを皆で食べるような、団欒のある暖かい第 1 の家庭」を作りたいという願いが、このホームの理念としてずっと引き継がれているという。スタッフもこの思いはしっかりと自分のものになっているし、家族やこのホームを訪問してくれる人も「ここは居心地がいいね」と言ってくれている。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…項目には改善点が挙げられてはいないが、広い玄関や厨房をぐるりと散歩できる程のゆったりとした共用空間等の活用を常に変化させながら、より落ち着いた生活となる場づくり、より利用者が寛げる場づくりを目指している。余分の椅子もあちこちに置かれ、このゆとりがいいと思う。</p> <p>2、全体的に見て…1階リビングルームにピアノが置いてあるのは挨拶の時目に付いていたが、今朝の打ち合わせの部屋まで突然踊るようなピアノの曲が流れてきたのにはびっくりした。打ち合わせはそっこのけにして急いでリビングルームに行ってみると、全員の利用者・職員の嬉しそうな顔があった。今日は定例の「ミュージックタイム」の日という。ピアノの弾き語りの合い間に皆さんの返事を上手に引き出すトークも素晴らしい音楽の先生に、私達まで魅せられてしまった。このホームでは、この「ミュージックタイム」の他に多くのボランティアの方々の協力を得て、メリハリのある豊かな暮らしを実現している。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		評価 不能
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…自主評価の一つ一つの項目の改善というより、当面のホーム全体としての改善テーマを「主人公はお年寄り・地域交流を通して利用者一人ひとりの力と経験を尊重した暮らしにつなげる」として、職員が利用者と一緒に一生涯懸命に取り組んでいる真最中である。三月の発表は一つの区切りではあるが、このホームのこれからの活き活きとした生活にさらにつなげるよう願ってやまない。</p> <p>2、全体的に見て…明治・大正生まれの人は自分のことより他人様の為に少しでもお役に立ちたいという、今の世は失われつつある美徳が残っており、ここの十人にも当てはまるのではないかと思う。こういった心情をスタッフは良く理解し、利用者が満足できるような対応を自然なやり取りの中でしているの、居心地が良いのではないだろうか。午後の安全パトロールに出掛ける皆さんの顔も意欲満々に感じられた。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>1、自主評価について…法人としての医療体制は以前より整っており不安はなかったが、ホームの職員に看護師が居る事は非常に心強い。日常的に身体の状態の変化への対応や受診時の付き添いだけでなく、入居時アセスメント実施にも加わるという改善は、より良いケアプランにつながるだろう。</p> <p>2、全体的に見て…ホーム開設より、もう少しで6年目を迎えようとしている。今日の日までに10人に近い人の最期を見送っている。事情があってこのホームで葬儀を出させてもらったという人もいる。ターミナルケアを経験する毎にスタッフの涙が溢れ、仕事の範囲を遥かに超えた尽くし方をしてきた。しかし、「そのかわりに、何物にも変えられない大きなものを一人ひとりからいただいた」と、スタッフは口を揃えている。「介護の仕事は、とても貴くて素晴らしいよ」とここのスタッフは大きな声で叫んでいるようだ。</p>		